

# 稲田の子



稲田いっぼん～家庭・地域と一つになって歩む学校

## がん予防のためにできること

11月14日(木)、6年生は保健体育の授業に帯広厚生病院副院長の外科医、大野耕一氏をお招きして、がんについてのお話を聞きました。がんを予防するためには①たばこはすわない②食事はかたよらず、バランスよく③運動不足にならない④飲酒は適度に⑤太りすぎない、やせすぎない⑥がん検診を受けることが大切だというお話を真剣に聞き、最後にたくさんの質問や感想を発表していました。



## シェフに学んだ大豆料理!

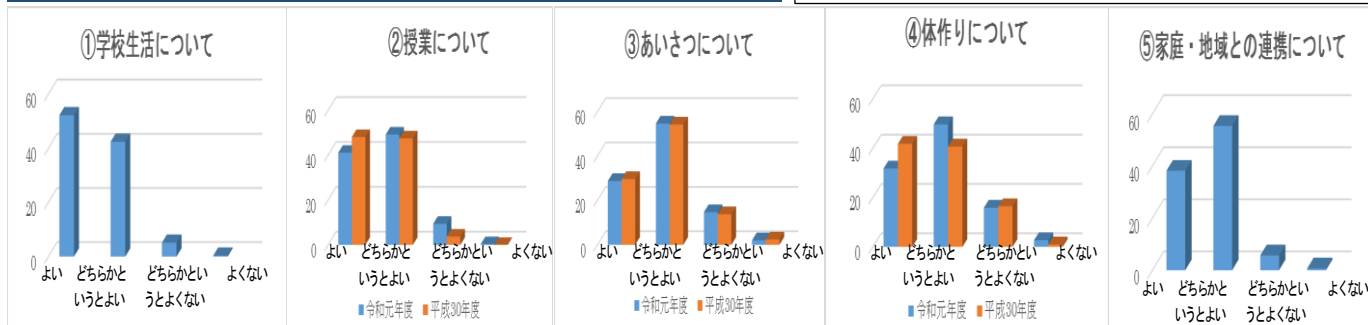
11月20日(水)～3日間、5年生は家庭科の授業に北海道ホテル総料理長の羽山正彦氏をお迎えして大豆を使った調理実習を体験しました。メニューは「大豆入りミートスパゲティ」と「大豆ピザ」です。メインの大豆はもちろん野菜も肉も小麦も十勝産を使ってとてもおいしい料理ができました。シェフの技に感動していた子どもたち。将来の夢の一つに加わったかもしれません。



本校では子どもたちが今も未来も健康に生きるために、専門家に学びながら、「自分の体」を守るための生活や食について考える授業を行っています。

## 前期保護者アンケートの結果から

先月はアンケートにご協力ありがとうございました。分析については裏面に掲載しています。(回収率67%)



## 稲田っ子に付けたい学力 ～その3 算数科

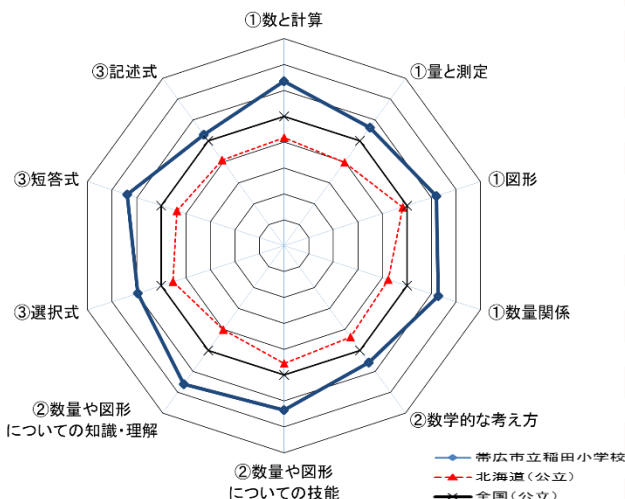
今回は、算数の問題から、基礎・基本の定着や活用力についての成果と課題をお伝えいたします。

### <基礎基本の定着および活用力について>

- 全体的な正答率は全国平均を上回っており、基礎的な算数の力は定着していると考えます。
- 数と計算など基本的な計算の力が高く、日頃の家学習などの成果もでている。
- △記述の問題の正答率は低い。

### <今後に向けて>

- 記述式の問題については、普段から様々な問題のパターンに慣れておく必要がある。
- 計算だけでなく、どうしてそんな計算になるかなどの仕組みや考え方をしっかり理解できるように授業改善を図る。



## 前期保護者アンケートの結果から



5つの質問項目の結果から、学校では以下のように考えています。

### ① 学校生活について

95%の方に概ねよい評価を頂いています。「楽しく学校へ通う」ことは学校生活の基盤になるものです。これからも子どもたちが楽しく学校へ通えるよう、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

### ② 学習への意欲的な取組

90%の方におおむねよい評価をいただいています。本校の学力・学習状況調査においては全国を上回る結果になりました。子どもたちの学習意欲はそのまま学力にも比例するものと考えています。今後も、子どもたちの「学びたい!」という意欲を大切にしながら研究を深め、きめ細かな指導に努めていきます。また、家庭学習(宿題)も学力定着・学習意欲の向上には欠かせないものとなっています。引き続きご協力をお願いします。

### ③ 気持ちのよいあいさつについて

今年度も昨年度に増して、気持ちのよいあいさつの定着に向けた取組や、声かけを行い、83%の方におおむねよい評価をいただいています。昨年度と同じような数値になっていますが、学校でのあいさつが広がり、地域の方からも児童のあいさつについてよい評価をいただいています。これからも「気持ちのよいあいさつ」の輪が広がるよう学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきたいと思ひます。

### ④ 体づくりの取組について

ここでも82%の方におおむねよい評価をいただいています。食育や日常的に取り組める体作りの活動なども取り入れ、お子さんの健康な体づくりと体力向上に努めていきます。

### ⑤ 家庭・地域との連携について

学校では、ふれあいパトロールや図書ボランティア、生涯学習推進委員のみなさん、近隣校の高校など多くの方々に支えられています。また、多くの出前講座で地域の力を借りて教育活動を進めています。これからも学校は地域と家庭を繋ぐ懸け橋の一つになるよう努めていきます。

## いただいたご意見について

一部のみで申し訳ありませんが回答いたします。いただいたご意見についてはすべて真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

### ■PTAあいさつ運動のとき、高学年が(または低学年が)あいさつをしない。

→校内での児童のあいさつはとてもよくなりました。知らない人に対するあいさつには照れがあるようですが、PTAあいさつ運動の意義等伝えていき、保護者の皆さんにも、気持ちよくあいさつできるように指導していきます。

### ■人数が多く、参観日に教室に入りにくいので工夫してほしい。

→子どもたちの座席を工夫して奥まで入れるようにします。授業の途中であっても、遠慮なく奥にお入りください。

### ■子どもたちが居心地よく感じる学級づくりをお願いしたい。

→「自信をもって注意して」または「叱りすぎないで」等のコメントを受け止め、指導するべきところは指導しながらも、一人一人のよさを認め合える学級づくりを目指していきます。お気づきの点はいつでもお知らせください。

### ■アレルギーの子をもつ親はどこに危険があるかいつも不安です。

→ご家庭と情報を共有し、食べるだけでなく、触れることも含め様々なアレルギーに丁寧に対応したいと思います。

### ■インフルエンザや感染症が流行しているとき、配膳係はマスク着用できないか。

→次年度の検討課題としますが、学校にはそのための予算がありません。たいへん恐縮ですがご家庭にマスクの用意をお願いすることになるかもしれませんので、ご了承ください。

### ■教科書を学校に置いていけないか。

→今年度より、学校に置いて行っている教科書や道具を決めています。しかし、おいて置けるスペースも非常に少ないので、次年度も学級数やクラスの人数を考慮して、新たに対応を決めていきます。

### ■特別支援学級と交流学級の連携が進み、よい経験ができました。

→これからも特別支援学級と交流学級の担任間の連携を進め、どちらの学級でも安心して過ごせるようにしていきます。

**PTAの活動から** 10月19日(土)、PTA教養部の主催で「稲田っ子を育くむ会〜ミリーさんのバルーンアートショー」が開かれました。たくさんの親子の参加により、ワクワクどきどきの楽しいひと時を過ごすことができました。また、11月15日(金)にはPTA保体部の主催によりミニバレー大会が開かれました。親睦が主といいながらも、つつい熱のはいったプレーが炸裂!でも、終わったあとはどのチームも笑顔になっていました。PTA各部の活動で保護者同士のつながりが深まっています。

